

ホームページはこちらから

大阪大学未来基金



www.miraikikin.osaka-u.ac.jp



お問い合せ: 大阪大学 基金室

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1 TEL.06-6879-8327 FAX.06-6879-4337 E-mail:kikin@office.osaka-u.ac.jp

# 大阪大学未来基金

活動のご報告とご寄付のお願い









# 輝く「世界適塾」を目指して 創立100周年、世界トップ10、未来基金100億円

大阪大学は、緒方洪庵が1838年に創設した「適塾」を原点に、市井の人々の熱 意に支えられながら、「地域に生 き世界に伸びる|をモットーに、わが国を代表する総合大学として、たゆみなく発展を遂げて参りました。

21世紀のグローバル社会において、大学に求められている新たな役割は、「学問を介しての調和ある多様性の創 造しです。このため、総合大学としての強みを生かした学問の府として、学問の水準を世界トップレベルに高め、「学 間を介しての調和ある多様性の創造 | により、心豊かな人類社会の発展に貢献する ことが、大阪大学の使命であると 考えています。

大阪大学は、その使命を果たし、22世紀においても輝き続ける大学であるために、創立100周年を迎える2031 年には、「世界適塾」として世界でトップ10に入る研究型総合大学になることを目 指しています。

この大きな夢の実現に向けて、2014年を「世界適塾」元年と位置づけ、大阪大学全構成員の英知と力を合わせ て様々な改革に取り組んでいます。加速すべきものは更に加速し、改善すべきものは
更に改善する努力を日夜続けて います。

大阪大学未来基金は、「世界適塾」として世界でトップ10に入る研究型総合大学になるための持続的財政基盤 となるものです。創立100周年を迎える2031年には、未来基金100億円を目指しています。

大阪大学の卒業牛の方々をはじめ、広く地域市民の方々や企業の皆様には、大 阪大学未来基金 "創立100周年 ゆめ募金"へのご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

> 大阪大学総長 乎野俊夫



# 大阪大学未来基金 "創立 100 周年ゆめ募金" とは

# 「創立100周年の2031年には世界トップ10の研究型総合大学になる」

この「夢」の実現に向けて、大阪大学未来基金は、学生や研究者の支援、 グローバル化の推進、キャンパス環境の整備などに積極的に取り組んでいます。 そして、平成25年10月から、

大阪大学未来基金"創立100周年ゆめ募金"を新たに開始しました。 この募金により、在学生、卒業生、教職員、さらに本学を応援してくださる皆様が一体となり、 「夢」を実現するための取り組みをより強力に支えていくことを目指しています。



平成25年10月3日、「創立100周年ゆめ募金」キャンペーンの開始式



平成25年11月3日、「創立100周年ゆめ募金キャンペーン in まちかね祭 | の様子



平成26年5月3日、「創立100周年ゆめ募金キャンペーン in いちょう祭」の様子



# 大阪大学未来基金の収支のご報告





理事·副学長 大竹 文雄

況にありながら、平成25年度のご寄付申込みは増加傾向を続けることができました。「大阪大学未来基金」に温かいご支援を賜りましたことを、心より感謝いたしております。

平素は「大阪大学未来基金」に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上

景気が回復しつつあっても所得の増加を強く実感できるようになっていない状

#### 基金残高は22億円に

げます。

大竹 又雄 「大阪大学未来基金」の収支状況につきましては、以下の通りとなっております。 収入総額は、29億2,189万8,921円となりました。皆様からの10,000件 以上のご寄付に合わせ、学内基金等の組入れ分を含んでおります。

支出総額は、7億605万6,571円となりました。その内訳は、奨学金支給など事業支出が約1億5,634万円、学部等の教育研究事業などあらかじめ目的を指定した事業支出が約5億3,728万円、活動費への充当が1,243万円となりました。

この結果、平成26年3月末日の残高は、22億1,584万2,350円となっております。

平成21年5月	1日~平成26年3月31日	}	
	内訳	金額(円)	
	寄付受入	2,880,473,835	-
収 入	運用益	41,425,086	基未
	小計	2,921,898,921	不等
	事業支出	693,625,430	お
支 出	活動費	12,431,141	-
	小計	706,056,571	基有
基金残高		2,215,842,350	73 7

#### ■基金の運営について

基金の支出は、学外有識者を含む大阪大学 未来基金運営委員会で、事業目的、資金使途 等を審議のうえ決定するプロセスをとって おります。

#### ■基金の運用について

基金は、国立大学法人法で認められている 有価証券(地方債)のほか、現預金で保有し ております。

# 皆様のご支援を支えに

「大阪大学未来基金」は、特に平成25年度より、国からの交付金では支払えない学生への奨学金などに積極的に取り組んで参りました。世界中から優秀な学生を集め、日本人学生がグローバルに活躍できるようにするためにも、基金の運用益で奨学金を賄えるようにしたいと考えております。そのためには、基金の規模拡大が必要です。そこで、創立100周年の2031年には100億円の基金とすることを目標に、「大阪大学未来基金"創立100周年ゆめ募金"」を平成25年10月からスタートしました。

おかげさまで、"創立100周年ゆめ募金"には、既に多くのご協力を頂いておりますが、大きな目標に到達するにはまだ距離がございます。優れた人材育成、研究成果の発表、地域への貢献を大阪大学は目指していきますので、卒業生・保護者の皆様、企業の皆様、地域の皆様には、「ゆめ募金」という形で応援頂きますようお願い申し上げます。

「大阪大学未来基金」は、皆様一人ひとりのご支援を支えとして、活動をさらに活性化して参りたいと考えております。なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

# 大阪大学未来 基金の事業



# グローバル人材の育成や、 教育研究活動のために活用します。

大阪大学未来基金は、皆様からのご寄付を基金として運用し、将来の大阪大学の研究活動の推進や、未来の阪大生の人材育成に活用するほか、現在の学生や研究者の教育研究環境の充実のために還元しています。

特に平成25年度より、大阪大学が目指す"グローバルキャンパス"の実現に向け、海外留学プログラムに挑戦する学生へのサポートを充実させているほか、教養、専門課程の成績優秀者への顕彰を実施するなど、人材育成のための支援活動に積極的に取り組んでいます。

# 若手研究者支援事業

# 海外をより意識し、研究者としての視野が広がります。

- ●博士後期課程に在籍する大学院生が、各研究分野の重要な国際 シンポジウム等において、在学中に初めて行う成果発表等に対し て、助成を行っています。
- ●助成額は、一人当たり25万円を上限としています。
- ●平成25年度の採択件数は、14件となりました。



# ICANN2013 (ブルガリア) に参加して

#### 岡留 有哉さん

基礎工学研究科 システム創成専攻 知能ロボット学研究室「今回参加した国際学会は、毎年ヨーロッパにて開催されています。私にとっては初の海外での口頭発表であり、非常に緊張しました。私は初日の第1セッションの発表であったことから非常に多くの方に聴講していただきました。研究以外にも、初のヨーロッパということで色々と文化の違いなども体験することができ、非常に有意義でした。」(写真上)



# 教養教育優秀賞



# 本校が力を注ぐ教養教育で 優秀な成績をあげた学生を表彰しています。

- ●すべての学部2年次生に在籍する学生を対象に選考しています。
- ●受賞者には、総長からの表彰状と、一人当たり20万円の副賞を授与しています。
- ●平成25年度の受賞者は、50人となりました。

#### 受賞者の声

「自分の関心の有無に関わらず、毎日やるべきことをきちんとこなしていたことが評価されたことで、あらためて真面目に取り組む姿勢の大切さを認識できました。」(理系 女性)

# 専門教育優秀賞



# 学部課程の専門教育科目で 特に優秀な成績の学生に授与しています。

- ●すべての学部3年次生に在籍する学生を対象に選考しています。
- ●受賞者には、総長からの表彰状と、一人当たり25万円の副賞を 授与しています。
- ●平成25年度の受賞者は、41人となりました。

### 受賞者の声

「日頃より勉学には励んでおりましたが、その成果というのは実感しにくいもので、賞をいただくことで自分の努力に対する評価をいただき、新たな抱負を抱くきっかけとなりました。このような学生の頑張りに対する支援をこれからも続けていただければと思います。」(理系 男性)

# 大阪大学未来基金の事業



# グローバル化推進事業 交換留学奨学金(派遣)



# 世界を舞台に活躍できる豊かな国際性が身につきます。

- ●学生の海外派遣を促進し、海外の大学等へ留学の機会 を与え、国際感覚を備えた学生を育成するために奨学金 支援を行っています。
- 支援する対象者は以下の通りとなっています。
- \*学部及び大学院博士前期課程に在学し、明確な留学目的を有する学生
- \*大阪大学と大学間または部局間の学生交流協定を締結している外国の大学等に交換留学生として3カ月以上1年以内の留学を希望している学生
- ●奨学金の支給額は、月額5万円としています。
- ●平成25年度の支給人数は、9人となりました。

アメリカ ドイツ デンマーク ロシア 中国 台湾

#### 衝突を恐れずに意見を主張

#### 吉田 麻由さん

外国語学部 (中国語専攻)





#### 応募の動機は?

高校生の時にNHKのドキュメンタリーシリーズ「激流中国」を鑑賞し、中国の国内問題に対して興味を抱きました。 実際に現地で現状を確かめるため、学習はもちろん旅行や課外活動に参加したいと思って応募しました。

#### 留学先と期間は?

中国の北京大学に2013年9月から2014年の1月まで滞在していました。

#### 一番学んだことは?

『衝突を恐れずに意見を主張する勇気』です。中国人学生、世界中の留学生とほぼ毎日国際関係について議論をしていました。多文化の中で認められるためにはしっかりとした自分の意見が求められました。時には衝突することもありましたが、喧々諤々と議論した仲間とは一生の絆を築くことができたと感じています。

#### 未来基金へのメッセージ

留学は私にとって大きな転換期でした。このような貴重な体験をさせて頂いたことに感謝しています。同時により多くの学生が未来基金を利用し、新たな発見、自分を更に深めることができればと強く望んでおります。

# グローバル化推進事業 海外研修プログラム助成金

# 大阪大学独自の海外研修プログラムで 国際感覚を養えます。

- ●学生を海外の大学等に派遣し、研修やインターシップに参加する機会を与える海外研修プログラムを支援しています。参加学生の外国語によるコミュニケーション能力向上、研究活動における国際性の修得、国際感覚豊かな人材の育成が目的です。また、各学部・研究科・センター等主導で計画する派遣プログラムを支援し、大学全体の学生派遣を促進させることも狙っています。
- ●応募条件は以下の通りとなっています。
- \*対象:学部及び大学院に在籍する学生で5名以上の学生が参加するプログラム
- \*実施期間:5日以上3ヶ月未満
- \*内容:外国の大学・研究機関・企業等において授業・研修・調査・インター シップ等を実施するプログラム
- ●助成金額は、渡航先地域等によって異なり、月額一人あたり 6~10万円となっています。



海外の大学・研究機関・企業で 授業・研修・調査・インターシップ等



#### 平成25年度実績

プログラム名	研 修 先	参加人数
海外フィールドスタディ「開発と社会・環境変化」	JICAラオス事務所(ラオス)	5人
イタリア・デザイン・サマースクール	ボローニャ大学 (イタリア)	5人
エセックス大学夏季語学研修プログラム	エセックス大学(イギリス)	38人
医療・医薬品評価イノベーションに関わる統計科学を担う若手データサイエンティスト育成・日台交流プログラム	国家衛生研究院(台湾)	5人
大阪大学、チュラーロンコーン大学及びタマサート大学日本語・日本文化大学院生交流プログラム	チュラ―ロンコーン大学(タイ)	33人

#### 英語力に目覚ましい伸び!

『エセックス大学夏季語学研修プログラム』 (主催:大阪大学国際教育交流センター、 国際交流オフィス学生交流推進課)





本プログラムでは学内選考を通過した38名が英国・エセックス大学での5週間の英語研修に参加しました。研修前後のIELTSスコアを比較すると、学生の英語リスニング・スピーキング力に目覚ましい伸びが見られます。高いスコアを手にした参加者のうち9名が、見事に希望を叶え、協定校への交換留学内定を獲得しました。

# 大阪大学未来基金の事業



# グローバル化推進事業 研究留学助成金



#### 平成25年度実績 主な留学先大学

- ハーバード大学(アメリカ) アルバータ大学(カナダ)
- チューリッヒ工科大学(スイス) ・中央民族大学(中国)
- 南デンマーク大学(デンマーク) マギル大学(カナダ)
- オタゴ大学(ニュージーランド)
- エアランゲン・ニュルンベルク大学(ドイツ) 等

# 世界水準の研究活動を志す学生に 海外派遣への道が開けます。

- ◆大学院生による海外の大学・研究機関における短期 研究留学等の研究活動を推奨支援し、国際性豊かで 創造的な研究開発活動を独力で展開できるグロー バル人材を育成するために、助成金の支援を行って
- ●支援する対象者は以下の通りとなっています。
- \*留学開始から終了までの期間、大阪大学大学院に在学する学生
- \*2ヶ月以上10ヶ月間程度を上限に海外に滞在し、研究活動を継 続的に行う学生
- \*研究留学について、大阪大学の指導教員の了承が得られている
- \*研究目的が明確であり、研究留学により学位論文の制作に資す る成果が期待できる計画が立てられる学生
- ●助成額は、120万円を上限としています。
- ●平成25年度の助成実績は、13人となりました。

# グローバル化推進事業 海外グループ研修助成金

# 学生自らが企画して海外での交流や 研修活動を行えます。

- ●学生の積極性と企画力・実行力の向上を期するため、任意に結 成された学生グループに対して、自らの企画による海外での交 流・研究活動に助成金の支援を行っています。
- 応募資格・条件は、以下の通りとなっています。
- \*大阪大学に在籍する学生により任意に結成されたグループ(数名から10 名程度)で、優れた企画と発表能力を有するグループ
- \*海外の大学等に出向き、現地の学生グループとの研修・交流活動を行う グループ
- ●助成金額は、1グループあたり100万円を上限としています。



#### 平成25年度実績

研 修 名	研 修 先	参加人数
第4回日蘭学生会議 「持続可能性のある社会とは-技術革新と環境保全の狭間でー」	グローニンゲン大学(オランダ)	16人
オーストラリアにおける法曹の働き方の多様性の調査 「日本の法曹労働市場の拡張に向けて」	モナシュ大学・メルボルン大学(オーストラリア)	3人
ワークライフバランス調査 「オランダにおける男性パートタイマーに対する社会的認識」	グローニンゲン大学(オランダ)	3人

# 世界トップレベルの機関で学ぶ

#### 木内 達人さん 理学研究科 (化学専攻)





#### 研究テーマは?

研究室では、ABO型血液型を決定する糖鎖の化学合成を行な いました。さらにそれを用いた、タンパク質との相互作用を質量 分析装置によって分析する手法の確立も行いました。

#### 留学先と期間は?

カナダのエドモントンという都市に半年間滞在しました。エドモ ントンのアルバータ大学には糖鎖関連の研究で世界トップレベ ルのAlberta Glycomics Centreがあり、主研究者のTodd Lowary教授の下で研究をしました。

#### 日本との違いを感じた点は?

カナダでは研究室の中に色々な背景や経歴を持った人がいると いうことでした。一度仕事をしてから大学院に戻ってきた人やす でに子どもがいる人など、様々でした。さらに国籍にしても10カ 国ほどの国の人が在籍しており、色々な価値観や考え方が共存し ているのが印象的でした。

#### 未来基金へのメッセージ

経済的な面は留学をする上で大きな懸念事項の一つなので、 それを払拭することができて本当に助かりました。このような貴 重な経験をさせて頂き、未来基金には本当に感謝しています。

# 第4回日蘭学生会議に参加して

#### 曽根 千智さん

人間科学部人間科学科生涯教育学

実践的な議論の技術を身につけ、世界尺度で自らの 学びをとらえ直したいとの思いから、日蘭学生会議に参 加しました。第4回目を迎える今回のテーマは「持続可能 性のある社会とは一技術革新と環境保全の狭間で一」。 16名の日本メンバーは、オランダで行われる本会議に 向けて分科会を結成し、知識の獲得に努めました。

本会議では、英語の至らなさに唇を噛み、オランダ人 学生達の思想の深さに感銘を受けました。オランダ人学 生は、自らが未来を創る一市民であることを自覚し、理想 の国家像と現実を確かな目で見つめていました。その真 摯な背中に刺激を受け、自らのキャリア、ひいては日本の 未来に逃げずに向き合えるようになったことが、大きな 収穫です。

今後につながる貴重な経験をさせていただきました。 未来基金には心より感謝しています。





# ◎ ご寄付をいただいた皆様への顕彰 ◎

「大阪大学未来基金」にご寄付をいただいた皆様に感謝の意を表し、さまざまなかたちで顕彰をさせていただきます。

# ⑩ 感謝状の贈呈 ⑩

ご寄付をいただいた皆様に感謝の心を込めて、 大阪大学総長から感謝状を贈呈させていただき ます。



# ⑩ ご芳名掲載 ⑩

大阪大学の未来基金ホームページに「WEB 芳名帳」を設けております。ご寄付をいただいた皆様のご芳名を掲載し、永く大阪大学の歴史に刻ませていただきます。



平成26年3月発行の「大阪大学ニューズレター第63号」からご芳名の掲載を始めさせていただき、発行月の前3ヶ月の間にご寄付をいただいた皆様のご芳名を掲載させていただいております。



www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/names/

本学が発行しております広報 誌「大阪大学ニューズレター」 (年4回発行)に、ご寄付をいた だいた皆様のご芳名を掲載さ せていただきます。

# ⑨「大阪大学感謝の集い」ご招待 ⑩



一定額以上のご寄付をいただいた 皆様を、大阪大学総長が主宰する 「大阪大学感謝の集い」にご招待 させていただきます。



# ⑩ 高額寄付者顕彰プレート ⑩

累計50万円以上のご寄付をいただいた皆様には、ご芳名をプレートに記し 大阪大学中之島センターの正面玄関に掲示させていただきます。

プレートはご寄付額に応じて「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の4種類あります。

# プラチナプレート

5,000万円以上の寄付者

## ゴールドプレート

500万円以上の寄付者

#### シルバープレート

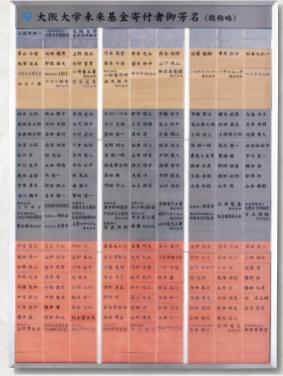
100万円以上の寄付者

#### ブロンズプレート

50万円以上の寄付者 ※上記金額は累計の寄付金額です。



大阪大学中之島センター



高額寄付者顕彰プレート(平成26年4月15日撮影)

# 税制上の優遇措置

大阪大学へのご寄付につきましては、確定申告を行うことにより、税制上 の優遇措置の適用を受けることができます。

# 個人の皆様

### 所得税の軽減

大阪大学への寄付金は、所得税法上 の寄附金控除の対象となる特定寄附金 (所得税法第78条第2項第2号)として 財務大臣から指定されています。

具体的には、寄付金の額(当該年分の 総所得金額等の40%を限度とする。)か ら2.000円を除いた額を所得から控除す ることができます。

### 住民税の軽減

大阪大学への寄付金を個人住民税の 控除対象としている都道府県・市区町村 (例えば大阪市、吹田市、豊中市、茨木市) にお住まいの皆様は寄附金税額控除の 適用を受けることができます。

具体的には、寄付金の額(当該年分の 総所得金額等の30%を限度とする。)か ら2.000円を除いた額に6%を乗じた額が、 翌年の個人住民税額から控除されます。

# 寄付金控除の計算イメージ

給与収入 700万円、配偶者+子ども2人、 所得税の限界税率10%で大阪市にお住まいの方が10万円を寄付された場合



# 法人の皆様

大阪大学への寄付金は、法人税法上の指定寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として 財務大臣から指定されています。

具体的には、寄付金の全額を、一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で、損金算入するこ とができます。

# ご寄付の方法



クレジットカードのご利用が便利です。ゆうちょ銀行、全国の金融機関から お振込いただく場合は、所定の4連式払込取扱票をご利用ください。 (払込取扱票がお手元にない場合は、お手数ですが、大阪大学基金室までお問い合せください。)

# 個人の皆様

# ゆうちょ銀行・金融機関からのお振込

所定の4連式払込取扱票をご利用ください。振込通知書(一番左の用紙)は寄付申込書 となりますので、住所氏名、寄付目的、関係など必要事項のご記入をお願いいたします。

## クレジットカードのご利用

大阪大学未来基金のホームページからクレジットカード によるご寄付のお申込みを受け付けています。









# 定期的なご寄付のお申込み

クレジットカードまたは口座振替により、継続的なご寄付をしていただくことができます。詳 しくは大阪大学未来基金のホームページをご覧ください。

# 法人の皆様

専用の申込書がございますので、お手数ですが、大阪大学基金室までご連絡をお願いいた します。詳しい手続きをご案内させていただきます。

# こんなご寄付の方法もあります

# **~□:本 古本募金「リボーン」 プロジェク**

皆様が読み終わった書籍が大阪大学の教育、研究活動などに役立てられます。 「Re:本(リボーン)」プロジェクト」は、大阪大学の在学生・卒業生・保護者の方・職員など当プロジェクトにご賛 同いただける皆様からの本の寄付によって、阪大生の「未来」を支援する取り組みです。

- ・ご自宅で段ボール箱に詰めて申込み (電話またはWEB) をするだけ。
- ・ご指定のお時間に宅配業者が自宅にお 伺いします。
- ・5点以上であれば送料は当プロジェク トが負担いたします。
- ・詳しくは大阪大学未来基金のホームペ ージをご覧ください。

#### Re:本プロジェクトの流れ







